

# さくらい 市議会だより



## 市民とともに、より開かれた議会をめざして

平成 24 年  
6 月定例会

### 議会改革特別委員会を設置

議会基本条例制定をめざし

#### 議案審議のあらまし

6 月定例会における本会議での審議の概要は、次のとおりです。

まず、6 月 15 日に開会し、市長より提出議案の理由説明がありました。

次に、21 日の本会議において別記のとおり熱のこもった一般質問が行われました。

続いて 25 日に本会議が再開され、議案審議があり、報告案件 4 件は全員異議なく承認されました。議案第 29 号から第 32 号については、委員会付託を省略して審議の結果、全員一致で原案どおり可決されました。

また、議員発議による意見書 1 件について原案どおり可決したのち、市長より人事案件 3 件の追加提出があり全員一致で同意されました。

以上、付議されました案件の審議はすべて終了し、同日をもって閉会致しました。

また、地方分権の時代の今、

議会には政策形成機能と監視機能の更なる充実が求められており、議会と住民の意思がかけ離れないよう努力が必要とされていることから、今議会において、議会基本条例の制定等、議会改革について検討するため、全議員をもって構成する次の特別委員会を設置しました。

◇議会改革特別委員会

委員長 我妻 力

副委員長 大西 亘

委員 全議員

○期間 議員の任期中

一般質問等の会議録は、桜井市議会ホームページ (<http://www.city.sakurai.nara.jp/gikai/>) をご覧ください。



### 議会改革特別委員会を開催

7 月 24 日に開催した第 1 回議会改革特別委員会では、5 月 15 日に行った三重県伊賀市の先進地視察等、他市の状況を確認するとともに、議会運営や市民への情報提供について活発な意見が出された。第 2 回は 8 月 28 日に開催し、具体的な検討項目を持ち寄り、活発な意見交換を行いました。



委員会の様子

## 議決結果

議案番号	件名	概要	議決結果
報 第7号	専決処分の報告、承認（平成24年度桜井市住宅新築資金等貸付金特別会計補正予算（第1号））	平成23年度住宅新築資金等貸付金特別会計が1億208万7,960円の赤字決算になるため24年度会計から繰上充用して補填	承認 （賛成全員）
報 第8号	専決処分の報告、承認（平成24年度桜井市駐車場事業特別会計補正予算（第1号））	平成23年度駐車場事業特別会計が5,345万1,759円の赤字決算になるため24年度会計から繰上充用して補填	承認 （賛成全員）
報 第9号	平成23年度桜井市繰越明許費繰越計算書の報告	平成23年度会計で繰越した防災行政無線整備事業等について繰越明許費繰越計算書の報告	報告 （賛成全員）
報 第10号	桜井市土地開発公社、桜井市清掃公社、桜井市医療センター及び桜井市文化財協会の経営状況を説明する書類の提出	各財団法人の平成23年度決算及び平成24年度予算の報告	提出 （賛成全員）
議案第29号	平成24年度桜井市一般会計補正予算（第1号）	補正額 1,956万4千円 農業総務費、林業総務費で過年度未払い金にかかる補償補填及び賠償金	可決 （賛成全員）
議案第30号	桜井市税条例の一部改正について	地方税法の改正等に伴い、平成26年度分以後の市民税について、公的年金以外の所得を有しなかった者が寡婦・寡夫控除を受けようとする場合に市民税申告書の提出を不要とすることに伴う改正	可決 （賛成全員）
議案第31号	奈良県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の改正に伴い、関係市町村の負担金の額の算定についての規定を変更	可決 （賛成全員）
議案第32号	訴えの提起について	放課後児童健全育成施設（学童保育所）の滞納保育料の支払いを求める	可決 （賛成全員）
発議案第2号	再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書の提出	提出先 内閣総理大臣 経済産業大臣	可決 （賛成全員）
同 第3号	副市長の選任について	香芝市 元田 清士氏	同意 （賛成全員）
同 第4号	監査委員の選任について	大字高田 西岡 良郎氏	同意 （賛成全員）
諮 第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	大字上之宮 植松 ミサエ氏	承認 （賛成全員）

桜井市の節電対策について  
問 関西電力管内では電力利用制限は回避されたものの、電力需要のピーク時には節電目標は15%以上であり、大飯原発3・4号機がフル稼働され、5〜10%に緩和されたとしても依然厳しい状況に変わりは無い。県内においては、5月から「まほろばエコスタイル」として様々な取り組みを打ち出し報道等されている中、本市だけが未定となっているが、取り組みは消極的では



一般質問  
岡田 光司議員

市政について  
ここが聞きたい

= 一般質問 =

ないのか。行政自ら市民に対し、節電に取り組む姿勢をもっと示すべきと考えるがどうか。節電対策会議において、昨年度より更なる節電にむけ、どのような対策を検討してきたのか聞きたい。大和郡山市が省電力と言われるHF蛍光灯（高周波点灯蛍光灯）を導入することにより節電効果を挙げていると聞か、導入を検討する考えはないか。また、このような情報の共有や収集こそが大事であると思うがどうか。情報収集するための出張は、財政的な問題で自粛しているのか。

**答（市長）** 関西電力から今夏の節電として7月2日から9月7日の平日の間、15%以上の節電要請があり、広報誌や自治連合会の会合を通じて協力要請を行ったところである。本市としては昨年同様、冷房の運転時間の短縮と28度の温度設定や廊下などの部分消灯、待機電力の節電、グリーンカーテンの導入など、また、グリーンパークにおいて、施設内の設備ファン関係の運転軽減と照明や冷房電力の削減・焼却



更なる節電対策を…（グリーンカーテン）

サスを図りながら、その意気込みを伝えて行きたい。また職員の情報収集においても市長のリーダーシップを持ってあたらせ、職員一丸となって頑張っていきたい。

**答（総務部長）** エコスタイルは、当初、5月1日から考えていたが、臨時議会のためやむなく未定と発表した。今後は、時期を明確にして早急な対応をしていきたい。節電については総務課が中心となり、市総体として取り組む部分については政策会議で協議している。県や他市は閉庁日の変更等、具体的な取り組みを出されたが、本市においては市民の混乱を危惧し、総合的に判断した結果、今回の結論に至った。HF蛍光灯については性能も含め、今後の施設整備の中で検討課題として付け加えていきたい。県とも十分に情報交換等行っているが、この点については情報不足で

炉運転時における受電抑制など、あらゆる場面を通じ、職員の節電意識の高揚に努め、更なる節電に取り組んでいきたい。計画停電に至った場合の備えとしては、全戸配布する予定でチラシも作成したが、大飯原発の再稼働が決定されたことにより具体的な計画停電の指示がない状況にあり、配布を見合わせている。今後も状況を見ながら混乱を招かぬよう対応していきたい。消極的と指摘を受けたエコスタイルの件など新聞報道については、もっとマスコミとコンセン

あった。積極的な情報交換をするように人事課を通じて指導していきたい。

**答（市長・公室長）** 財政が苦しい中、基本的には県内市町村での研修には情報収集も含め積極的に参加させていきたい。

**問 今後の学童保育の運営について**

子育て支援策の一つとして大きな役割を担う放課後学童クラブ（学童保育）は、平成11年に城島小学校の敷地内に設置されてから現在市内11小学校の内10ヶ所設置されるに至っている。2012年版の「子ども子育て白書」によると、子育て家庭の妻の86%が正社員やパートを希望し共働き志向が強いとの報告があり、また、全国学童保育連絡協議会の調査では、近年、子どもだけの留守番には不安を持ち、小学校高学年までの受入れ希望が全国で増加傾向にあるという。当市において学童保育は拡充されてきたとはいえず、まだまだ十分とは言えない。このようなニーズに早急に応えてほしいと思うが、今後の運営について聞きたい。また子育て

て支援を充実させることにより、若い世代の人口流出を食い止め、人口流入にもつながるのではないかと。

**答（市長）** 学童保育所の入所対象は原則小学校低学年を優先に募集し、定員に余裕がある場合には、4年生に拡大して受け入れを行っており、更に障がい有る子どもについては、4年生の拡大部分を運用して現在6年生まで受け入れている。長期休みの開所時間は、昨年夏休みから保護者の負担により、午前8時として試行し、本年3月に条例改正を行い制度化した。6年生までの受け入れについては、少子化傾向の中、余裕の出ている地域と、そうでない地域があることから将来時期を見て対象年齢の拡大を考えたい。長期休みの開所時間の延長についても保護者の勤務の終了時間帯や勤務場所などの把握に努め指定管理者の更新時期に合わせて、更に検討したい。子育て支援のために、少子化だけではなく、共働きで増えていくかも知れない中、総合的に考えたいよう

な形が一番いいのか真剣に考えたい。

**答（福祉保健部長）** 募集年齢等の拡大については指定管理者の募集条件の変更も伴うことから事業者の理解と協力が必要であり、待機児童やハード面の整備なども十分に協議した上で、柔軟な対応を検討していきたい。

### 一般質問

工藤 将之議員



**日本一住みたいまち、誇れるまちのビジョンについて**

**問** 市長が思い描く「日本一住みたいまち、誇れるまち」とは、どのようなまちであり、その実現に向けてどのような取り組みが必要であると考えられるのか。また現在、どのような取り組みや制度を全国に誇れる事業と評価しているのか。給食センターのアレルギー対策など全国的にも、すばらしい取り組みがあるにも

かわからず周知されていないのではないか。「知ってこそ」「伝わってこそ」住みたいと感じ、誇れるのであってホームページ等様々なものや、あらゆる機会を活用し、もっと当市の良さを市内外に発信していくべきであり、それらの取り組みが人口流入にもつながる要因となり得るのではないか。市長の公約の中にタウンミーティングがあるが、具体的な予定は計画されているのか。「日本一住みたいまち、誇れるまち」を目指す行政のトップとして、ここにいる行政職員に何を求めるのか聞きたい。

**答（市長）** 第5次総合計画と自身の公約をリンクさせ、観光産業振興や福祉・医療の充実を図る「陽だまり政策」を実現したときこそが、思い描く「日本一住みたいまち誇れるまち」と考える。その実現に向け重点施策プロジェクトを立ち上げた。今後とも行財政改革をすめながら山積みされている課題を一つ一つ解決し、各種団体とともに桜井市に元気と活力をよみがえらせていきたい。誇れる取り組みや

制度は、昭和49年に行った県内初となる人権擁護都市宣言や本年4月に医師会等と締結した災害時における医療救護の協定、未受診及び未就園児フォローアップシステム、義務教育施設の耐震化などがある。タウンミーティングについては、24年度中に開催したい。行政職員には第一に「桜井を良くしたい」という気持ちと情熱を持ってもらいたい。

### 観光施策について

**問** 観光は、当市において基幹産業に位置づけられる大変重要な施策であるが、今までの観光戦略だけでは多くの観光資源を生かせていないのではないかと。和歌山県では県と観光連盟が主体となり、数多くの着地型観光の企画や立案をし、成果を挙げている。市長は今後も、これまでの一般的な観光を継承していくのか、ニューツーリズムや体験型など様々な選択肢がある中、何に重点を置くかとしているのか聞きたい。現在、県下において紀万葉プロジェクトが立ち上がり、当市においても推進協議会が結成されたと聞

くが、構成メンバーと今後の取り組みについて聞きたい。奈良新聞の11ヶ月の観光に関する統計を取ってみたところ大和郡山市と比べても記事掲載が半分以下であったが、この要因にはマスコミとの関係もあるのではないかと。例えば先日、開催された桜井市グルメグラン



古事記編さん1300年の今年から、9年間にわたる紀万葉プロジェクトのスタート！

して、行政は民間事業者が魅力を感じる観光プランの開発などに力を注ぐべきである。また当市が観光戦略として、ニューツーリズムを導入していくにあたっては地域との連携をより密にし、すべての市民に観光都市であるという認識をもっていただけという綿密な計画を立て進めていく必要があるかと考えるがどうか。

### 答（市長）

観光ニースは多様化し、従来型の観光にとらわれない多様な体験メニューによる観光形態が求められており、しっかりとした観光戦略をたて、滞在時間の延長につながる仕掛けづくりとして、体験メニューの開発や様々なメニューを具体化していくことが重要であると考えている。また観光戦略については、点在する素晴らしい観光資源を点から線に、線から面になるような観光

計画を策定するとともに、行政で出来ることと民間にまかせることをしっかりと役割分担し、総合的に考えていきたい。広報活動や観光情報については市のホームページでの紹介や総合パンフレットを市役所のロビーや観光案内所・宿泊施設に常備し行っており、常に満足することなく多様な広報・情報発信をしていきたい。

**答（産業経済部長）** 記紀万葉プロジェクトのかかわりにおいては、向こう9年間、県や万葉集等にゆかりのある市と連携をはかりイベントを開催するなどして、観光客の誘致を図ってきたい。推進協議会は市長が会長となり商工会、木材協同組合、三輪どうめん組合等30団体からなる組織で、各種イベントの開催や物産の新商品の開発等を手がけていく予定である。ニューツーリズムについては観光マーケティング事業として着地型商品の開発に取り組んでおり、提案業者2社によるプロポーザル審査を行ったところでもあり、魅力ある商品を提供していきたい。

### 一般質問

大西 巨議員



### 防災対策について

#### ①災害時市民への

情報伝達方法について

**問** 災害が起きたとき市民がまず必要とするのは、「何がどういう規模で起き、どう行動すべきか」などの正確な情報であり、行政においては被災状況の把握である。そのためには現在ある「桜井市安心安全システム」のメール配信サービスや今年度導入予定の防災無線等の通信手段のほかに複数の手法を組み合わせ、いっような災害に対しても迅速な対応ができるよう備えるべきと考える。そこで以下の3項目について聞きたい。①回線混雑の影響を受けずに受信できる「エリアメール」や「緊急速報メール」の導入について②災害時に市販のFMラジオで避難場所や炊き出しの

お知らせなどの生活情報を聴くことができる災害FMと呼ばれる臨時災害放送局の開設準備について③衛星回線を利用し、大容量の画像やデータの送受信が可能となる衛星ブロードバンドの導入について

**答（市長）** エリアメールについては、市内エリアにいる人に気象庁からの緊急地震速報や市からの災害時緊急情報を無料で携帯電話に受信できるサービスであり、今後導入を前向きに検討したい。コミュニティ放送は、市が防災用にFMラジオでタイムリーに情報を発信できるものとして、

また衛星ブロードバンドの設置については他の回線が遮断された場合に、映像の送受信ができる利点について認識しており、防災行政無線の充実を図りながら、もう少し担当部局において研究をしたい。

②桜井市防災会議委員への

女性委員の選任について

**問** かねてより防災会議委員に、女性の登用を強く要望していたが平成24年度に外部より1名選任されたことについては一定の評価をするが27名の委員の内、1名だけでは女性の視点からの意見を防災計画に反映させるには不十分であるため、できるだけ多く選任すべきと考える。また防災会議等の議案立案や女性委員との連携をとりやすくするために、防災安全課に女性を配置する考えはないか。また防災会議においては事前準備された案件を追認するだけにならないように、地域防災計画の作成・見直し等更なる充実を願う。

**答（市長）** 女性の視



女性委員も加わり、充実した防災計画を（桜井市防災会議）

点からの意見を防災計画に反映させることは大変重要であると認識しており、今年度の防災会議には幼少年婦人防火委員から女性委員の参加をいたくことになった。女性職員の配置については、市女性職員からの選任もあわせて担当課とも相談しながら検討したい。去年の東日本大震災、そして9月の台風12号あるいは15号と、大変な被害をもたらした。いっような災害が起こってもおかしくないような温暖化現象の中で、改めて市民の安心安全が一番大事であると感じており、防災会議でしっかりと議論し、市民の安心安全対策のため頑張りたい。

### 一般質問

東山利克議員



### 市長の施政方針について

**問** 圧倒的な勝利で当選された市長に市民が期待するのは大胆な改革であり施

策の実施である。マニフェストは一定進んでいると理解するが市長が思い描く桜井のあるべき姿、将来像について聞きたい。また、それらの実現には「市長のリーダーシップ」「職員のやる気」さらには「財源の捻出」が必要と考えるが、職員全体のやる気を引き出すよう思い切った人事の刷新を行い、新しい発想のもと施策を進めてはどうか。再任用職員や臨時職員については、どのように活用しようと考えているのか。通常、再任用職員等の給料は21万円弱と聞いているが、ある部署の臨時職員には28万円プラス、管理職手当て5万7,000円を支払いボーナスも支給されていると聞いたが事実か。このことが本当ならば職員の士気にも影響が出かねないと思うがどうか。資源ごみ収集業務の民間委託は平成24年度から試行のはずが取り止められた。26年度から本格実施とあるが本当に実施できるのか。また、ごみ収集業務経費削減のため、現行3人乗務しているごみ収

集車を2人体制に削減することについて進捗状況を聞きたい。ごみ民間委託の可否は市長の行政改革への本気度が試される。今後の行政改革推進全般へも大きな影響があると思われるので、ぜひやり遂げてほしい。今回の特別養護老人ホーム設置に関するプロポーザルの結果、1位と2位が僅差であったならば点数に拘らず、既存施設との地理的なバランスを加味するなど大局的な市長判断も必要ではなかったのか。また、プロポーザル中であつたとはいえ受理した要望書が審査に反映されなかったばかりか、1ヶ月間も市長に届けられずにいたことについて考えを聞きたい。道の駅については計画がすすんでいるのかどうか。

**答（市長）** 第5次総合計画に示す将来像、観光・産業創造都市が桜井市のあるべき姿と考え、公約と照らし合わせ重点施策プロジェクトを立ち上げて具現化を図り、桜井市に元気と活力をよみがえらせた。人事の刷新については積極的な人材育成や女性及び若

手職員の管理職への登用など柔軟な人事管理を行い、職員のモチベーションをアップさせていきたい。再任用職員の採用状況は現在18名であり、その能力と経験を生かせる職場への配置等を十分考慮し、活用については職員数の適正化とあわせ検討していきたい。再任用職員の給料等処遇の違いについては、過去の経緯も含め検討しなければならぬと考える。資源ごみ収集業務の民間委託については収集施設管理民間委託推進会議を立ち上げ、県内他市町村の民間委託の実施状況も見な



太鼓橋を復元し、おかげ横丁の賑わいを  
(JAならけん倉庫跡地)

から検討し、行政改革推進本部への意見の集約を強く指示しているところである。特別養護老人ホームの審査については、審査委員会を設置しプロポーザル審査の結果報告を受け、承認した後、最上位の事業者を県に上申した。市長に對する要望書が市長に届いていないことは遺憾であり、わかつた時点で嚴重に注意した。道の駅については重点施策と位置づけ、中長期にわたるプロジェクトとして、現在場所も含め検討している。

**答（市長公室長）** 環境部の臨時職員については労基法の適用を受け、労使間により労働条件等を決定し、今日まで運用してきた。

**答（総務部長）** 行政改革推進の課題として組合とも十分話し合いを持っている。

**答（福祉保健部長）** 審査会議中に入室することは審査進行の妨げになると判断した。ただ、審査終了後、報告すべきであり1ヶ

月近く処理をしなかつたことについて適切さを欠く行為であると認識しており、福祉保健部職員一同気を引き締めて職務にあたりたい。

**答（環境部長）** 現在、第3回推進会議の準備をしているところである。

**一市一まちづくり事業である三輪のまちづくりについて**

**問** 当事業は平成22年度から「大神神社の上品な参道づくり」と三輪のまちの賑わい創出をテーマに着手され、三輪まちづくり会議で具体案を作成の後、ハード面・ソフト面が整備されることになつているが、上手く進んでいるようには見えない。もつと行政がリードし、一定の方向性を導き出すべきと思うがどうか。また、当事業の推進には地元自治会の協力が不可欠であるが、三輪まちづくり会議の参道部会のメンバー構成をとつても、そのような構成になつていない。どのような意図で選考したのか。これらの問題を解決するため早急に市長のマニフェストでもある「まちづくりコンシェルジュ」や、まちづくり支援課を設置し支

援する。また、当事業の推進には地元自治会の協力が不可欠であるが、三輪まちづくり会議の参道部会のメンバー構成をとつても、そのような構成になつていない。どのような意図で選考したのか。これらの問題を解決するため早急に市長のマニフェストでもある「まちづくりコンシェルジュ」や、まちづくり支援課を設置し支

援すべきと考えるがどうか。  
当市観光振興の目玉として  
JAならけん倉庫の跡地に伊  
勢のおかけ横丁のような施  
設を整備すればと思うが考  
えを聞きたい。

**答（市長）** 参道整備の進捗状  
況は今年5月から県による参  
道の現況地形測量を行って  
おり、今後はこれまで検討さ  
れてきた課題等の意見とあ  
わせ整備計画となる予備設  
計の段階に進む予定である。  
これからは、関係各団体の協  
力を得ながら地域住民とも  
事業の継続を図りたい。コ  
ンシエルジユの設置にあ  
たっては、うまく機能する  
よう制度設計する必要があ  
り、今後、先進事例を参考  
にしながら導入に向けて研  
究を進めたい。JAならけん  
倉庫跡地については地元商  
店や地場産業を中心とする  
商業施設が進出し、地域  
の発展のために利用され  
ることが望ましいと考える。  
そのためにも魅力ある参道  
整備を行い、更なる観光客  
を誘致するとともに地域に  
賑わいを作り、企業が関心  
を持ち、投資したいと考  
えるようなまちづくりを  
リーダーシップを発揮し

行っていきたい。まちづくり  
担当課についてもこれらの  
仕組みの一つとして組織の  
機能の強化策という側面から  
今後検討を進めたい。

**答（産業建設部長）** 参道部会  
については、沿道にかかわ  
りのある方を区長の推薦に  
より構成している。

### 一般質問

東 俊克議員



### エネルギー自給のまちづくり について

**問** 昨今、各地で原発依存の  
エネルギー政策から自然エ  
ネルギー利用への転換の声  
が高まってきており、市民  
の生活を守るためにも地域  
の自然条件を生かした地産  
エネルギー政策によるエネ  
ルギー自給に桜井市も取り  
組む時と考えるがどうか。

**答（市長）** 東日本大震災によ  
る福島第一原子力発電所の  
事故以降、各地の原子力発電



ごみ焼却炉での廃熱利用（グリーンパーク）

所が次々と停止され、エネ  
ルギー不足が懸念されている  
が、本市においてもグリーン  
パークごみ焼却炉での廃熱  
を利用した蒸気タービン発  
電設備や桜井小学校新校舎  
棟に太陽光発電設備を設  
置したところである。今後エ  
ネルギー自給率を上げるた  
めには地域の自然エネルギー  
を活用し、地域循環型社会  
の構築を図ることが必要と  
なってくる。厳しい財政状況  
ではあるが、先進都市の取  
組みを参考に自然エネルギー  
を生かした自然エネルギー  
利用等を研究していきたい。

### 桜井市のPR活動につ いて

**問** 8月26日に桜井  
市民会館で「NHK  
のど自慢」が放映さ  
れるが、桜井市を全  
国にPRする絶好  
のチャンスである。  
NHKへの対応は  
どのように考えて  
いるのか。また、ツ  
イッターやフェイス  
ブック等の新しいコ  
ミュニティツールを  
使ってPR活動をし  
ている自治体が増え  
てきているが、市の取組み  
について聞きたい。

**答（市長）** 日本国内のみなら  
ず海外にも放映される「NH  
Kのど自慢」は、本市をPR  
する絶好の機会であるとい  
えらる。限られた時間の  
なかで、桜井市を最大限PR  
していただくように申し出  
をする。また市民協働課で  
は、平成24年4月からツイ  
ッターを利用して、市民との協  
働を推進するために市民同  
士、また市民と行政がお互  
いの情報を共有するネット  
ワークづくりに取り組んで  
いる。さらに、フェイスブッ

### 一般質問

我妻 力議員



### 桜井市の公有財産管理について

**問** 市管理の土地財産には学校  
用地等の行政財産や一般的  
な財産その他道路・里道等  
があるが、これらの土地で  
現在不法占拠されている  
ものがあるのか。あった  
場合は、どのように対  
処しているのか。橋本  
地内で公衆用道路用地に  
なるべき市有地に民家が  
建っている件について、  
平成22年6月議会で質  
問して以来どのように  
取り組んできたのか。固  
定資産税は登記地積と登  
記地目による課税と聞  
くが、現況確認

は十分出来ているのか。また登記地積と現況地積の違いや公図と所有が一致しない等の理由により、固定資産税に不公平が生じることはないのか。これらの解決策として国土調査法に基づく地籍調査を行うべきと考えるが、全国ならびに県下の実施状況について聞きたい。また調査の間、減免措置を適用できないか。

**答（市長）** 里道・水路については地元が管理しており、現在不法占拠されている事実はないと聞いているが、市道・里道・水路の境界確定が未確定のところについては、不法占拠されているか否かは把握出来ていない。国や県の補助金や交付税措置もあり地籍調査をする効用は十分承知しているが、市民の理解と協力がまず必要であり今後慎重に研究を進めていきたい。

**答（総務部長）** 公図をもとに地番図を作成し、公図が現況と一致しない場合は地権者の問題もあり、できる限り所有者に公図訂正や測量を実施願っている。税の不公平は、あつてはならないものであり、現況と合わない場合には、その都度不公平のな

いように対応している。市税条例に関する減免措置については、現在災害時のみ適用しており、それ以外のケースについては検討協議し組織的に対応する必要があると考える。県内における地籍調査の進捗状況は11%であり、調査する中で複雑な権利関係により途中で頓挫してしまつたところもあるようである。ただ必要性については、十分認識している。

**答（産業経済部長）** 平成22年度以降の取り組みについては、土地の所有者と地元と協議し測量を行おうとしたところ1件境界の確定に承諾が得られなかった。境界を確定した上で公図訂正により進める考えであつたが、今後は法的なことも視野に入れ、対処できるのかどうかも含め考えていきたい。

**問 地場産業の振興について**  
**答** 本市の発展には木材産業の振興が必要不可欠と考えるが、市長は主幹産業であつた木材の振興について具体的にどのような施策を考えているのか。平成22年木材の利用方針を定めた公共建築物等木材利用促進法が制定され、県に



独自色が期待される「桜井市木材利用推進方針」

において平成24年3月に奈良県産材の利用推進を図る目的から公共建築物における奈良の木利用推進方針が策定され協議会も設置されたと聞かすが、市はどのように関わっているのか。これから市が基本方針等を策定するのであれば、「木材のまち桜井」という冠に見合う桜井市独自の方針をつくるべきと考えるがどうか。すでに他市では補助金制度などに独自色を出し木材振興などを推進しているが、本市においても早急に検討し産業の発展にも松井カラーを出して行ってほしい。

**答（市長）** 平成24年3月に奈良県産材の利用推進を図る目的から、公共建築物における奈良の木利用推進方針が策定された。本市においても県が策定した利用推進方針を参考に、独自色を出した木材利用推進方針を策定したい。今年1年かけてしっかりと公共施設を見直し、計画を立てた上で建て替え等の際には、地域木材を活用していきたい。

**答（産業建設部長）** 本市において指針を作成した上で、県の協議会にも参入していく予定である。

#### 一般質問

万波 迪義議員



防災、減災の観点から、老朽化する社会資本整備について

**問** 高度成長期に整備された道路や橋、上下水道、公共施設などがコンクリートの対応年数といわれる50〜60年を迎えるが、当市における、これらの施設の現状と耐震、修復整備計画等について聞きたい。公明党は、自助・共助による防災意識の啓発と安心安全な社会の構築にむけ、10年で100兆円を集中投資することにより、老朽化した社会資本（インフラ）の修繕を加速し、公助を中心とした防災力の強化と経済の活性化の両方を実現化し、100万人の雇用を創出しようという視点から「防災・減災ニューディール」を発表した。綿密な計画を作り上げ政策が動き出せば、当市もいち早く名乗りを上げてほしい。

**答（市長）** 本市の防災拠点である本庁舎は、平成20年7月に耐震診断を実施したところ、建物の耐震性能は縦方向、横方向ともに基準値以下で早急な対応が必要であり、消防署部分については一部構造上の問題があ





長寿命化修繕計画の策定に向けて橋梁調査

るものの、即時の補強等の措置を行う必要はないと専門家の所見が出ている。災害時の避難所となる全小学校、中学校については耐震補強が完了しており、保育所、幼稚園については本年度に耐震診断を行う予定である。インフラ面の市道については年次的に舗装補修等を実施しており、橋梁については平成21年度より点検を行い、平成25年度に長寿命化修繕計画を策定し、重要な橋梁の長寿命化に向けた修繕を年次的に実施したい。上水道管については

受益者に影響の大きい基幹管路について今年度、更新化計画を策定し水道事業の健全化を図りながら整備したいと考える。下水道については管布設後30年以上を経過した幹線のうち、重要度の高い路線から順次テレビカメラ調査を実施し、緊急度に応じた補修を行い、長寿命化を図る計画をして

いる。さらに本年度緊急雇用創出事業補助金を活用した公共施設マネジメント推進事業により、本市の公共施設の現状把握及び維持管理コストの集約を行い、公共施設のあり方についても検討を進め、この取り組みとあわせ施設の更新を進めていきたい。ニューディール政策が通れば、一番先に本市が手を上げられるような準備を、しっかりとしておきたい。

**問** 震災ガレキの受入れについて

東日本大震災で発生したガレキ量は岩手で平年の11

年分、宮城で19年分に相当し現時点での最終処分量は全体の12.6%に過ぎない。県外の幾つかの市においてはすでに受け入れを表明している中、今年の3月議会で、本市においても安全基準がはつきり示されれば協力していきたいとの答弁であったが、その後の市長の考えを聞きたい。

**答** (市長) 放射能の安全性が確保され、国のほうで担保されれば本市としても考えたいが、安全性が担保できない震災瓦れきについては現時点では受け入れることはできないと考える。市民の理解を得ることも必要不可欠であり現状においては、受け入れには慎重を期したい。

**通学路の安全点検について**

**問** 今年4月に京都府亀岡市

で集団登校中の児童と保護者の列に軽自動車があつ込み3人が死亡、7人が重軽傷を負うという痛ましい事故以来、登下校中の児童が巻き込まれる交通事故が相次いでいる。公明党は早速通学路の安全プロジェクトチームを立ち上げ、国に対

し緊急提言を行った。これを受けた政府は8月末を目処に、すべての公立小学校と公立特別支援学校・小学部の通学路を緊急合同点検するよう関係省庁を通じ通達を出したが、当市としての点検、対策等は、どうしているのか。

**答** (市長) 各学校においては

例年4月当初に通学路の点検を行い、危険箇所を把握し通学路の変更なども含め改善方法を検討しているが、再度5月2日付けで、点検の指示を行い、6月には桜井市学校安全会議を開催し、登下校の安全協力をいただいているボランティアあるいは保護者、地域の方々にも子ども安全確保のための協力を重ねてお願いした。公明党の緊急提言を受け、7月中旬より8月末のあいだで改めて危険箇所の合同点検を実施し、対策案をまとめ県教委を通じ文部科学省へ報告する予定である。交通環境あるいは道路状況の変化を踏まえ、子どもの登下校の安全対策、あるいは安全指導に引き続き努力をしていきたい。

一般質問

吉田 忠雄議員



**上新電機桜井上之庄店出店計画について**

**問** 計画概要地元説明会において店舗側は「外壁等には華美な配色を避ける」と、周辺景観に一定の配慮を示しているものの、ロードサインの高さ15m、色彩は赤系統としている。現時点で行っている申し入れや指導について聞きたい。市発展のためにも開発は必要であるが当市において魅力あるまちづくりを推進していくにあたり、風景は最大級の財産と考える。そこで、①ロードサインの高さを10m以内におさえる②壁や表の看板を周囲と調和する色彩に変える③歩道と敷地の間の緑地帯に樹木を植える。以上の3点について市長自ら粘り強く交渉にあたってほしい。

**答（市長）** 平成24年4月に景観行政団体になったことから、ロードサインや看板等の位置、大きさ、設置方法や色彩について周辺の眺望、景観と調和するように



景観との調和を…（上新電機建設予定地）

では、できる限り協力すると回答を得ている。  
**原発の依存から自然エネルギーへの転換について**  
温暖化対策や原発事故により、原子力発電にかわる自然エネルギーへの関心が高まっているが、当市においても市民・事業者・行政が一体となり自然エネルギー導入の方向性を示す自然エネルギービジョンを策定すべきと考えるかどうか。また、自然エネルギー導入にあたり太陽光発電の設置補助金制度の実施や小水力発電についての調査・研究、木質バイオマスの熱利用

要望している。出展予定場所は、県の景観計画に基づいて指導する広域幹線沿道地区であり、より一層景観に配慮した大福地区計画をもとに更なる協力要請をした結果、高さは14mという回答を得られた。またロードサインの柱については、茶色などとするよう協力を求めている。緑地帯につい

の検討をしてほしい。

**答（市長）** 自然エネルギービジョンの策定については、今後、本市の地域特性、土地利用、形態等を踏まえ、他のエネルギーとの活用とあわせて先進都市の取り組みについて調査研究を行っていきたい。太陽光発電の設置補助については、依然として厳しい財政状況にあることから早期に補助

制度を創設することは厳しい状況にあるが、その必要性を強く感じているので今後とも検討していきたい。小水力発電の調査研究については有意義であると考え、発電に必要な安定した水量の確保、水利権の有無設置箇所事業の採算性等、検討すべき課題も多く、これらを踏まえた上で引き続き調査研究を行いたい。本市は木材のまち桜井として、木質バイオマスが多く存在し、有効利用することが非常に重要と考えるが、端材や廃材、パレットの貯蔵場所や加工コストの生産性など課題も多く、今後も導入事例を参考にしながら調査研究していきたい。

**中和宮繕高田地区産廃最終処分場について**

**問** この施設は埋立許可期限が平成28年6月まで、埋立容量が142万7、367m<sup>3</sup>、高さ制限が299・5mであり、この3項目のうち一つでも達した場合に埋立事業を終了するとなっているが、現時点での埋立容量と高さを把握出来ているか。部分的には高さがオーバーしていると聞いて

いる。早急に埋立事業を終わらせ、跡地管理計画を事業主や産廃場周辺の区、市、県で協議すべきと考える。また、産廃場周辺住民から寄せられる悪臭に対する苦情については、検査結果の数値だけで判断せず市民の立場に立ち、事業者に対して徹底した原因の究明と対策を望む。

**答（市長）** 事業者は毎年県に対して報告しており、平成23年9月末現在で残容量は約1万6、000m<sup>3</sup>と聞き及んでおり、平成23年度末の埋立残容量については、本年10月末ごろに報告される予定である。事業終了後の跡地管理計画の協議については、事業者が植樹を行う緑地公園または森林公園化する計画を届け出しているかと聞いている。本市としては、事業者との間で締結した環境保全協定の8条の規定に基づき、

埋立終了後の処分場の維持管理が適正に行われるよう県と連携を図り、監視を行う中で対応していきたい。悪臭については以前から指導監督責任のある県と緊密に連携し、立ち入り調査等の実施により、事業者の監視や指導を行いながら具体的な臭気対策を求め、覆土方法の改善、送風装置、脱臭装置の設置等の対策の結果で確認している。また、それと平行し、地区区長、県および事業者の立会いのもと、年6回の臭気検査を実施し、規制基準が遵守されていると確認している。今後とも県と緊密に連携し、事業者に適正な維持管理による悪臭対策を行うよう求めていきたい。

### 傍聴してみませんか？

市議会の本会議は公開されていて、どなたでも傍聴することができます。手続きは、本会議当日、受付で住所・氏名等を記入してから議場にお入り下さい。

